

一曹洞宗一

義峰山
① 鱗勝院
りんしょういん



額田義直(佐竹家5代当主長義の弟)が常陸額田(茨城県)に開創。佐竹義宣の国替の際、住職・鯨室樹珊が義重(義宣の父)と一緒に秋田へ下り六郷に創建した。その後、保徳院(義重の孫)が2代藩主義隆より現在地(約3千坪)を拝領し、六郷から寺院を移して佐竹一門の菩提を弔った。



久保田城の裏門
だった楼門を改修
移築した山門

住所 秋田市旭北栄町6-35 電話 018-862-3298

一浄土宗一

二七日山釈迦堂
② 光明寺
こうみょうじ



鎌倉幕府5代執権北条時頼が開創。「唐糸御前」伝説によると、諸国修行の旅で津軽を訪れた時頼が寵愛していた唐糸御前の死を知り、鎌倉へ帰る道すがら供養のために建立した。大正11(1922)年、秋田座の火事で本堂を焼失したが、昭和7(1932)年、千秋公園にあった佐竹家別邸大広間を移築し本堂とした。



伝 北条時頼持仏釈迦如来像



伝 小野小町自作尊像

住所 秋田市旭北寺町1-21 電話 018-862-7750

一日蓮宗一

久遠山
③ 法華寺
ほっけじ



文殊菩薩像に学業増進・合格祈願を



行学院日朝上人像に
眼病守護の祈願を

文亀2(1502)年、本山本満寺の塔頭・玉持院の住職日尋が土崎湊に開創。秋田県最古の日蓮宗寺院で、通称「浜の法華寺」と呼ばれた。その後、義宣の城下町づくりの一環で寺町に移転した。

住所 秋田市旭北寺町1-25 電話 018-823-2318

Visiting TEMPLES

秋田市
寺町

四季折々。寺町を歩いてみよう!

寺院の紹介



寺町の歴史

関ヶ原の合戦の2年後、慶長7(1602)年、佐竹義宣は常陸(茨城県)から秋田に国替となりました。義宣は最初、土崎にあった湊安東・秋田氏の湊城に入りましたが、翌年には久保田城の建設に着手しています。湊城の敷地が狭かったこと、その立地が軍事上有利な地形に恵まれていなかったことなどがその理由であると言われています。

さらに義宣は久保田のまちづくりとして、城が築かれた神明山(現千秋公園)の南に、城に仕える侍たちが住む「内町」、そして旭川をはさんで、まちを活気づけた町人たちが住む「外町」、さらにその西側には端然と寺屋敷が並ぶ「寺町」を配しました。久保田の町の形がほぼできあがったとされるのが寛永の頃(1624~1643年)。寛文3(1663)年の「外町屋敷間数絵図」(県立図書館蔵)を見ると、寺町には40ほどのお寺があったようです。そしてそれらはおおむね3つの種類に分けられます。

1つ目は、転封前の義宣が住んでいた地、常陸の国から義宣を追うように移ってきたお寺。鱗勝院、龍泉寺などがそれにあたります。国替を命じられた当初、義宣は常陸の諸寺院に対し、常陸に残るよう勧めました。それでも、いくつかの寺院は佐竹氏に随従したのです。

2つ目は、まちづくりのために土崎湊から呼ばれた町人と同様、土崎湊周辺(現在の土崎、寺内、飯島)から移ったお寺。「湊3カ寺」と呼ばれていた大悲寺、妙覚寺、光明寺をはじめ、浄願寺、西善寺、當福寺、釈迦堂など18のお寺が移転してきました。

そして3つ目が、久保田の町で開かれたお寺。誓願寺、普伝寺などが挙げられます。

お寺を外町の西側に並べたことには、戦の時の防衛体制、戦略的な要素も含まれていました。大きく丈夫な建物と広い敷地を備えた寺院は、敵を迎え撃つときの格好の待機場所となつたでしょうし、攻め入る敵の「壁」となつて、一時的にその足を止めることにもなります。そして寺院をすき間なく並べて配置することで、その壁をより強固なものにしたのでしょう。(出典:広報あきた2004年7月9日・11月12日号より)

一日蓮宗一

妙光山
④ 本妙寺
ほんみょうじ



永禄3(1560)年、妙光院日銀が開創した。総本山身延山久遠寺の直系寺院。現在の本堂は、明治27(1894)年に再建した。境内には身延山分体願満稲荷大明神と清正(加藤清正)公をまつるお堂や、日蓮聖人幼少時の「善日磨」立像がある。



天井に描かれている
二〇〇枚の植物絵

住所 秋田市旭北寺町1-29 電話 018-862-4052

一日蓮宗一

顕乗山
⑤ 久城寺
くじょうじ



永正2(1505)年、下総国(千葉県)の中山法華経寺7世日有が土崎湊に開創。慶長年間(1605年頃)、義宣の城下町づくりの一環で寺町に移転した。延宝7(1679)年、総本山久遠寺29世日蓮が幕府の命で3代藩主義処にお預けとなり、随従した弟子らが久城寺に庵居。日蓮が亡くなった後、その弟子の1人日晴が久城寺11世となり、御霊屋と石塔を守った。



天井に描かれている三十六歌仙



四大聖地釈尊像に触れて、
合格の祈願、学業増進や試験に
先づ供養を

住所 秋田市旭北寺町1-32 電話 018-823-3418

一真宗大谷派一

恵光山
⑥ 西法寺
さいぼうじ



本願寺8世蓮如に帰依して出家した蓮教が、加賀国能美郡大垣(石川県)で創建。その後、日本海航路を辿って男鹿市脇本を経て、明応8(1499)年、土崎湊に一字を建立した。慶長18(1613)年、義宣の城下町づくりの一環で寺町に移転。嘉永2(1849)年には境内に東本願寺学寮が設けられ、明治7(1874)年から17(1884)年にかけて人見正吉校長の寺町学校が開設された。明治19(1886)年、俵屋火事で焼失したが、昭和2(1927)年に再建した。

秋田市出身の挿絵画家の
桶小夢によって本堂の襖に
描かれた青松之図



住所 秋田市大町3-5-26 電話 018-862-3333

一曹洞宗一

龜頭山
⑦ 妙覚寺
みょうかくじ



弘安6(1283)年、鎌倉幕府7代將軍惟康親王が命じ、高清水の丘に3つの天台宗寺院(妙覚寺、光明寺、大悲寺)を創建。通称「土崎湊3カ寺」と呼ばれた。弘治2(1556)年、廢寺となったが、天正19(1591)年に曹洞宗寺院として再興。元和8(1622)年、義宣の城下町づくりの一環で寺町に移転した。



北秋田市鎌沢の大仏と
由利本荘市赤田の大仏と
ともに、県内三大大仏と
言われている延命地藏尊

住所 秋田市旭北寺町4-45 電話 018-862-2968